

分蜜糖工場のバガスのエネルギー利用と有効活用

沖縄県内の分蜜糖工場

【経緯】

- ・大量に発生するバガス(さとうきびの搾りかす)の有効活用
- ・工場の燃料代等の経費削減を模索

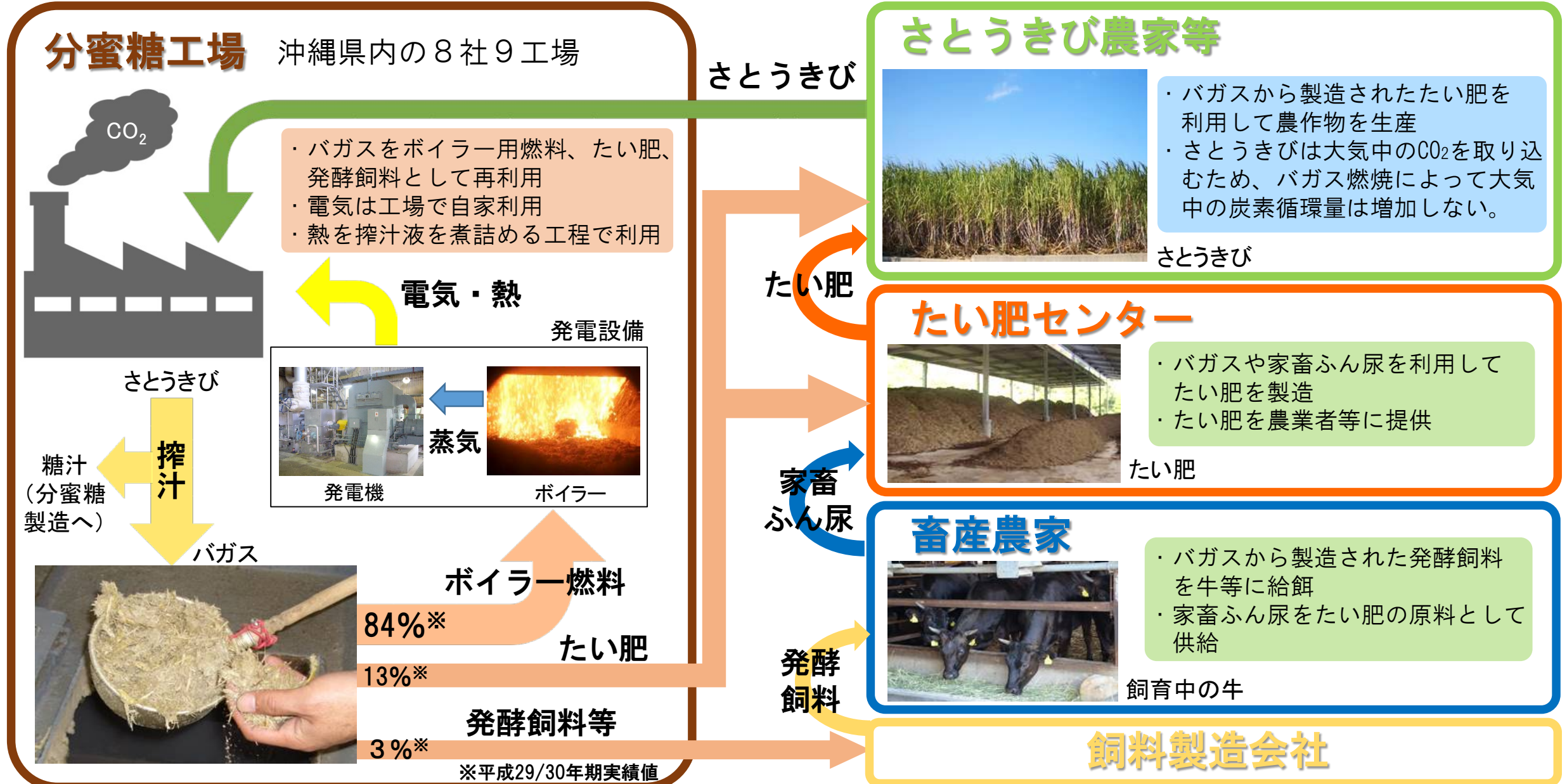
【取組】

- ・バガスを燃料としてボイラーを稼働。発生した蒸気を発電や熱源として利用
- ・燃料に使用しないバガスをたい肥製造等に利用し、バガスを余すことなく利用

【効果】

- ・バガスの有効活用により資源循環型農業を実現
- ・農業者に肥料・たい肥を供給
- ・工場の燃料代等削減

事業スキーム



- ✓ バガスを、ボイラー用燃料、たい肥、発酵飼料等として有効活用するとともに、ボイラーで生じた蒸気を発電や搾汁液を煮詰めるための熱源として利用し、工場の経費削減にも寄与
- ✓ バガスから製造されたたい肥・発酵飼料を農家等に提供し、資源循環型農業にも寄与
- ✓ さとうきびはCO₂を吸収して成長するため、バガスを燃焼しても大気中の炭素循環量は増加しない

今後の展開

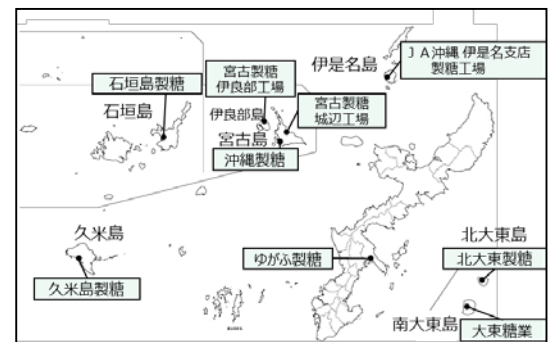
- 本取組を継続することにより、さとうきび生産及び資源循環型農業の更なる発展を目指す



首里城本殿

【沖縄県の概要】 人口:1,439千人
基幹産業:観光リゾート産業
特産品:肉用牛、さとうきび、豚
(出典:「国勢調査」・「人口推計」、「新しい沖縄づくり10年計画」、「生産農業所得統計」)

【発電所の概要】所在地:沖縄県うるま市字川田330番地の1
(ゆがふ製糖(株)) 他7社8工場



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



お問合せ先: 日本分蜜糖工業会

TEL 098-869-0417